

2026年1月7日
株式会社 キューデン・インターナショナル
九州電力株式会社

米国ペンシルベニア州で太陽光発電事業に参画しました －米国における再生可能エネルギー事業をさらに加速－

九電グループである株式会社キューデン・インターナショナルは、三菱重工グループの米国再生可能エネルギー開発事業者であるOriden LLC（以下、Oriden社）との間で、Oriden社が開発する太陽光発電プロジェクトの100%持分取得に関する契約を、東京センチュリー株式会社とともに締結いたしました。

本件は、九電グループにとって米国で2件目の再エネ事業への出資であり、今回の参画により海外発電事業の持分出力は約279万kW^(注1)となります。本事業への参画により、九電グループは米国における再エネ事業の展開を一層加速してまいります。

九電グループは、これまで培った高い技術力や豊富な経験を活用し、世界各国で更なる事業展開を進め、「九電グループ経営ビジョン2035」及び「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」の実現に向けて、引き続き挑戦してまいります。

[参考] 事業概要

所在地	米国 ペンシルベニア州
設備概要	約 20MW
株主構成	キューデン・インターナショナル 50% 東京センチュリー 50%
売電先	フィラデルフィアエネルギー局へ20年間売電
商業運転開始時期	2026年10月（予定）

（注1） 営業運転前の参画案件を含んだ値

以上